

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(特定非営利活動法人こどもプロジェクト)

1. 事業の成果

東京の避難親子の居場所リベルタ（杉並区阿佐谷）は引き続き杉並の困窮児童支援の居場所として、子ども家庭庁ひとり親家庭等食糧支援、東京都緊急パントリー支援などの補助金でリベルタこども食堂を継続した。月2回だった手作り弁当配布と寄付食料分配は、寄付食糧の減少により月1回に減らし、160食60世帯でキープ。東京都内のひとり親家庭への宅配も約30件継続支援した。物価高の影響と、杉並区の補助金が始まったこともあり、緊急パントリーの開催が増えた。武蔵野市のリベルタこども食堂セカンドは、成蹊大学生とのコラボで、約20世帯のひとり親家庭の支援を継続し、パントリー用の倉庫も充実させた。

民間の助成金が取れたので和田の立正佼成会倉庫をさらに整備し、ランニングコストを当団体で持つということで運営について立正佼成会と杉並区社協と3者で覚書を交わした。

特筆すべきは、10月ごろ店舗型フードドライブの寄付食糧のペットボトルから薬物混入が発見され、スタッフで止まって健康被害はなかったが、子どもに提供していたら取り返しのつかないことになるところであった。本件については、子どもたちに安全安心な食糧を提供するフードバンクの必要性を農水省に要望書で提出し、こども食堂支援センターむすびえのヒアリングを受けて、こども家庭庁にも報告した。

事業の実施に関する事

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
子どもの居場所づくり・奉仕体験事業	こども食堂・避難親子、ひとり親家庭食糧支援等	令和7年4月～令和8年3月まで	東京都杉並区、武蔵野市、東京都全域	15名	困窮子育て家庭、福島避難親子、支援者 3,000人	9,790
次世代育成支援対策推進事業	食育、玄米発酵調味料等の普及	令和7年4月～令和8年3月まで	東京都内	3名	子育て当事者、福島避難親子 300人	1,000

(2) 営利活動に係る事業 なし